

記入日：令和2年7月15日

所在地（都道府県/市町村）：京都府宇治市		
法人名：特定非営利活動法人 就労ネットうじ		
施設・事業所名：ゆめハウス	担当者名：小畑 治	
事業種類：就労継続支援 A・B型(多機能)		
主たる障害：3 障害	令和2年3月末現在 定員：20人	
TEL:0774-23-5193	FAX:0774-661-556	E-mail: obata@sn-uji.or.jp

① 令和元年度までの主な取り組み内容

<p>清掃業務・販売業務/店舗販売・出店販売（カフェ飲食含む）・企業内実習・企業内施設外就労・製菓事業・手作り商品・下請け・リサイクル（野球硬式ボールの再生）</p>

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

<p>4月は就労支援収益（B型）昨年同月比－95%で、主に飲食関係出店販売の影響が大きいです。5月・6月と少しずつ回復していますが、京都府や宇治市等行政の工賃補填の取り組みでの回復になります。</p> <p>主にA型で取り組んでいる清掃業務は減少しつつも、さほど影響なく進んでいます。</p>
--

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

<p>事例タイトル：地元企業と連携した施設外就労の取り組み</p> <p>取り組み内容： 新たな展開を模索中ですが、現状進めているのは、企業が行政から入札で落とした業務（主に清掃業務が中心です）を施設外就労や施設外支援で可能な部分を企業と連携して取り組んでいます。</p> <p>*相手企業と信頼関係のもと進めていく事が重要で、企業側からすると、人手不足でとれない業務を連携できる内容を見込んで入札できます。（勿論適正な金額はいただきます）</p> <p>*行政へは優先調達も絡め、入札時の基準内容として事業所連携率10%などできなかと相談していますが、話に乗ってはくれません…</p>
--

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

中小企業家同友会や地元の社長とのやり取りからです。
清掃だけでなく、多様な部門で具体化できればと思います。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

企業内で誰もが働ける環境づくり、（企業内では人材育成につながっているとのこと）

例：CoCo 壺番屋での取り組み、

ご飯の分量を量るにあたり電子計りを使っていますが、本人にとっては不安の大きい部分でした。ボタン一つで定量を抽出する機械を導入、誰もが働きやすくなっています。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

事業所としてはありません。

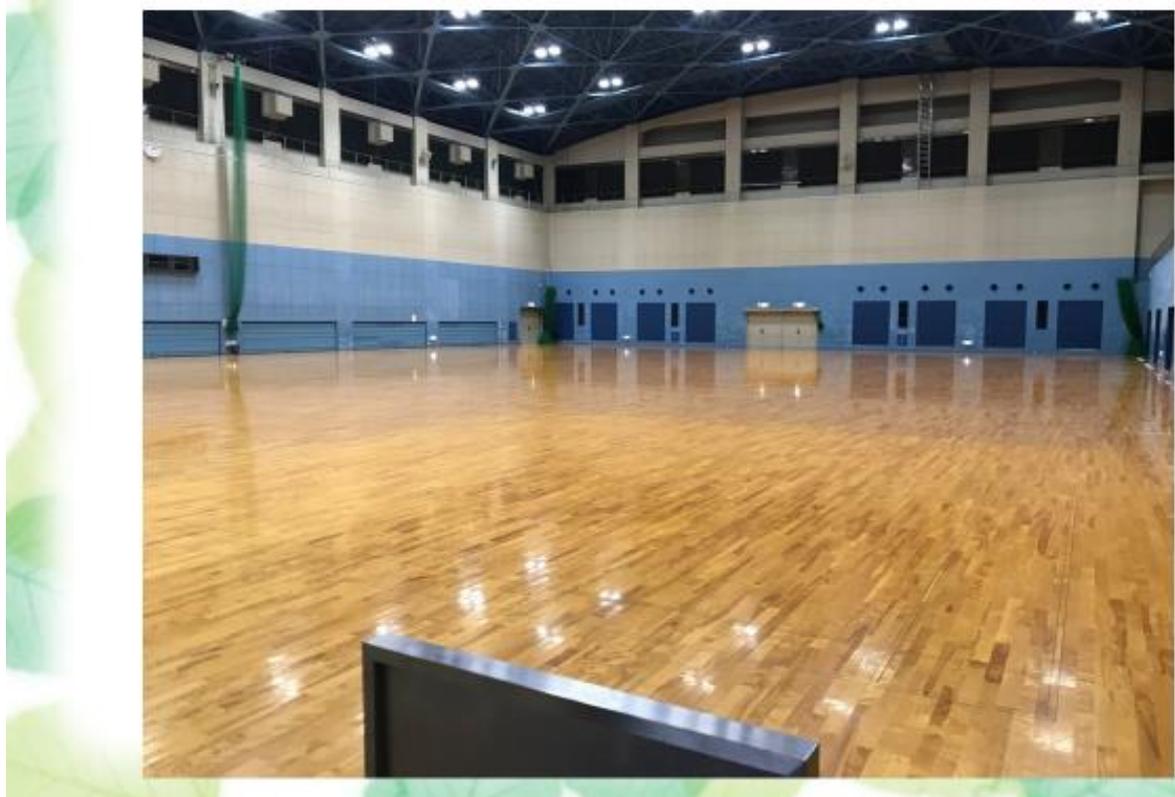
⑦ 今後の課題・展望

本人が様々な必要配慮の元、たとえ短時間の働きでも地域の中で活躍することが多様性を知る上で大切、事業所内で業務が完結しないように心掛けています。





地域の体育館清掃(企業の年間業務の一部を実施)



京都の染織業者との連携



日本プロ野球OBクラブとの連携



日本プロ野球OBクラブ
公益社団法人全国野球振興会

市民プール清掃 地元業者と連携



プール清掃



地元業者と連携（主に道具の運搬）

受水槽清掃



食品のパック詰めなど（施設外就労）

